

令和3年度歳末たすけあい事業「地域支え合い・地域共生社会づくり推進事業補助事業」 事業報告

採択団体：計 13 団体（「地域支え合い推進事業」 7 団体、「地域共生社会づくり推進事業」 6 団体）

交付金額：計 900,000 円

① 地域支え合い推進事業 7 団体

No.	団体名	事業名	対象者		
1	丸木町会	地域支え合い推進事業	町内の会員	理由	これまで、地域交流の場である「カフェまる輝」や町内会行事、会議を開催する際に会館の座卓を使用していたが、長年の使用により劣化がひどくなってきたことに加え、高齢者の会員より「座卓での作業や立ち上がりが辛い」という声もあり、脚付長テーブルやパイプいすを導入し、地域交流や活動の環境を整えたいため。
				内容	町内会行事（役員会・班長会・各種イベント）、地域交流活動（カフェまる輝など）を実施する際に使用する備品（テーブル、パイプいす）の整備
				効果	脚付テーブルとイスを整備することにより高齢者だけでなく、椅子の生活に慣れている世代も含め、活動参加者の不便を解消することで、交流機会の促進が見込まれる。環境が整うことで、役員等の会議開催も容易になり、より円滑な町内活動の推進を図ることが出来ると考えます。また、これから年末年始の時期に向け備品を整備し、交流や活動の機会を拡大することで老若男女問わず多くの会員が健やかな歳末を迎えられる地域づくりに努めたい。
				報告	これまでの座卓、ローチェアに座って行っていた会議やイベントの参加者から楽になった、これだと長い時間座っていても問題ないとの声があり、概ね好評であり、目的達成度は100%達成できたものと思います。
2	野々市市本町六丁目町内会	町内会交流促進事業	町内会会員	理由	これまで、町内会行事を実施する際に使用していた拡声器が故障し新型コロナ感染拡大防止の観点から大声を出す等の飛沫防止に取り組むことができず活動に困難が生じている。年末年始に向けての町内会活動を見据え、またコロナ禍での飛沫・感染防止に取り組みながら安全かつ円滑に行うために、必要な備品と考えられるため、音響設備（ポータブルスピーカーマイク）購入費用を申請する。
				内容	町内会行事（年末年始の総会・定例会・各種イベントに活用する）、健康促進活動（地域サロン10月から再開・健康カラオケ教室※）※健康カラオケ教室（誤飲防止・痴呆防止を目的）は、コロナ収束後に六丁目会館内で開催する予定となっております。
				効果	本事業によりポータブル音響設備を導入することで、地域交流の機会が増え、老若男女問わず多くの会員が年末年始を迎えられ、またコロナ禍での地域活動を円滑にし、会員相互の交流を促進することにより、町内活動がさらなる活性化になることを目的とする。大声での飛沫を心配することなく、参加者に確実に声を届け、担当者の負担を軽減し、また、持ち運びが容易な設備のため、屋外行事での使用が可能になることで、これまでより活用できる場面が増えることが見込まれる。今後の町内会活動の機会を確保し、より一層の地域活動及び交流を促進する効果が期待できる。
				報告	コロナ禍での花見会を開催しましたが、機材を活用することで、大声での飛沫を心配することもなく、参加者に確実に声を届けることができた。また、屋外での花見会開催であったが機材の持ち運びが容易で担当者の負担が軽減できた。今後も町内会行事で機材を活用することでより一層地域活動及び交流を促進することが出来ます。
3	憩いのカフェ	新庄5・6丁目 憩いのカフェ	新庄5・6丁目町内の60才以上の人	理由	現在、使用の町内会館は畳敷の為、椅子の使用が出来ない為に約50畳のところにカーベットを敷きたい。
				内容	憩いのカフェ 名前の通り町内の60才以上の人が気持ちよくお茶会に来ることと、高齢者の見守りを兼ねるため会館を整備したい。
				効果	椅子使用に依り、もっと高齢者、膝の痛い人も参加しやすく、年末年始の行事に向けて、カーベットを敷き広いスペース活動したい。（コロナ対策）
				報告	カーベットを敷くことに依り、体操の際も気持ちよく出来ることと、以前、畳の上で体操していた際に、くつ下だったので滑り、大腿骨を骨折したことがありました。これで安心して出来ます。
4	太平寺仲良し健康サロン	地域サロン	会員全員	理由	今後も長く継続していく為、この制度にて少しでも活動のバリエーションを多くし、活気ある魅力あるサロンにして、町内のシニアの方々と共に健康とコミュニケーション作りに役立てていきたいと思い申請致しました。
				内容	・ラジオ体操、足踏み体操、ゴム体操、ボール体操、リズムダンス、認知症予防体操、バス研修会（年1回）、食事会（年1～2回） ・保健センターより健康指導（年4回） ・体力テスト（包括支援年1回）※レクリエーション活動を増やすための用具（健康体操DVD）（ポーリング・ダーツ）の整備事業 ・100回参加修了証の発行にて達成感と励みになっているので続けたい。
				効果	・目的…現在の体力と健康維持、楽しい仲間作り ・効果…現在は片足立ち、歩行速度の維持ができて（ほぼ）いる（落ちた方は膝等の手術をされたのが原因） ・今後の効果として…高齢化が進む中、これからの寒い時期又、真夏の暑い時、室内で体を楽しく動かせる ・ポーリング・ダーツを新たに購入し楽しく動かして、会員の健康作りコミュニケーション作りに役立つと思う ・レクリエーションの種類を増やし、PRする事で、新たな会員を増やすことが見込める ・年末年始の時に用具を買うことによって、寒い季節に外出がおっくうになりがちな会員にも参加する意欲を持ってもらう事につながる
				報告	・春・秋→レクリエーションとして開催し、会員募集を行う。その時にゲーム等を活用する。 冬→全会員で年始めの新年会で活用し、親睦を計る。 ・1月中旬頃からオミクロン感染者が増してきた為、1～3月は中止・休会となりましたが、4月～は様子を見ながら検討し、5月にはレクリエーション大会を行うことを決定し活用予定
5	三日市新を元気にする会	地域支え合いの推進	町内の住民	理由	当町内は集会所を持たないので各種行事やイベントの際に、高齢者や障害者の参加が難しい状況があります。そこで公園を活用してカフェや健康体操などの開催により、すべての住民が気軽に参加出来る地域コミュニティの場であり・支え合いの場にしたい。その為、必要な簡易テント・テーブル・椅子・収納物置等の購入を考えている。
				内容	○三日市新カフェの開催（毎月1回） ○健康体操の開催（毎月1回） ○プランタ菜園の拡大
				効果	コロナ禍で各種行事やイベントも中止になり、住民相互の交流も途絶えがちな状況の中で住民同士各年齢層のふれあいの機会を増やし、支え合いの意識を高めることが目的です。本年、春季から開園したプランタ菜園においては住民各層（高齢者、中年者、若い親子家族）で夏野菜（トマト、ナス、ブロッコリー、パプリカ等）の栽培・収穫を楽しみ、住民相互の交流の機会にもなった。更に拡大を目指す。
				報告	三日市新カフェの開催では目標より参加人数が多かったこと、そしてコロナ禍で出会う機会が少ないことから、久しぶりの交流の場になったと考えています。今後イベントの回数を重ねることで、支え合いの意識UPに繋げていきたい。

令和3年度歳末たすけあい事業「地域支え合い・地域共生社会づくり推進事業補助事業」事業報告

6	太平寺カフェ	太平寺カフェ「あなたが主役街角紹介」事業	太平寺町内会 住民	理由	コロナ禍のなかで、カフェに人が集まるだけでなく、オンラインで視聴し参加できるカフェにしたい。また町内の行事を始め、街中の見どころ、トピックス、住民の趣味や特技などなどをビデオを使って広くカフェで紹介していき、住民の交流を広げていきたい。
				内容	カフェの様子をオンラインで視聴できる取り組みにしたい。カフェをはじめ町内のさまざまな取り組みや住民の様子などをビデオで記録し、カフェで紹介していく。カフェで紹介されるビデオを案内する。
				効果	高齢者の参加が多いカフェでは、特に年末年始などの冬場や雨の日には参加しにくいので、身近な情報をビデオでの上映によって魅力あるものにでき、参加しやすくなる。今後ネット環境を広げ、身近で魅力ある住民の情報をビデオによって提供していける。
				報告	・ 毎月一回（第一月曜日午後1時30分～4時）太平寺会館で「太平寺カフェ」を行っている。内容は、講演やグループで話し合い、新年会などを行っている。 カフェの様子を録画し、次回に「前回の様子」として鑑賞している。今後は、町内の行事、風景等も紹介していく。 ・ 参加できなかった人が、前回の様子を見て満足できた。ビデオカメラの機能が良く、写りも音声も明瞭で、とても楽しめる。（太平寺会館にある大型テレビに写して見る） 今後、他の町内行事や、団体・サークル活動の紹介に使えることが期待される。
7	さわやかサロン（地域サロン）	転倒・骨折を予防する 転倒防止体操	会員18名	理由	体操に使用する椅子が購入年数が経過。椅子は折り畳み式で安定性がなく、出し入れの際には、重たいため高齢者には負担がかかる。今後、安全安心して体操を続けていただくためにも椅子の購入をしたい。
				内容	転倒・骨折を予防する体操。早口言葉・歌も取り入れ、体操後にはお茶を飲みながらコミュニケーションを図る。
				効果	年齢と共に日常生活の動きの衰えを予防するため、足・腰を鍛えることを目的とする。体操後にお茶を飲み、雑談をしていただく。話を共有し仲間がいる高齢者に精神的な安定、楽しんでもらう。また、地域の高齢者等の情報も提供していただき、その後近隣の方に気を付けて見て頂く。
					安定感がある安全な新しい椅子で、足・腰を鍛えることを目的とした座りながらの体操・横に立ちつかまっの体操等を安心して行っていました。会員の方からは、座り心地良く安心して体操ができると好評でした。また、以前より重さも軽く折りたたむ負担がなく持ちやすくなったので片付けもスムーズに行えています。コロナ禍で飲食は出来ませんが、体操する前後にはお互いの体を気遣ったり、雑談のなかで近所情報なども話したりと皆さん仲良く楽しんでいました。

令和3年度歳末たすけあい事業「地域支え合い・地域共生社会づくり推進事業補助事業」事業報告

② 地域共生社会づくり推進事業 7 団体

No.	団体名	事業名	対象者		
1	ののいち市民カウンセラーの会 ほわっと	ののいち市民カウンセラーの会 ほわっと 傾聴活動・活性化	野々市市に関 係し（在住、 勤務、通学 等）「何らか の困難を抱 え、生きづら さを感じなが らも懸命に生 きる様々な 人々」で、傾 聴を希望する 方	理由	コロナ禍で様々な制約を受けながらも傾聴活動を継続しているが、さらにその活動を活性化するため
				内容	1 傾聴活動時使用する「ほわっと」のオリジナルエプロン作成 2 傾聴活動会場に掲示する「ほわっと」のオリジナルのぼり旗の作成 3 傾聴活動の広報に使用する「ほわっと」の活動紹介ポスター、リーフレットの作成
				効果	・ コロナ禍で様々な活動の制約を受け、言い知れぬストレスが蓄積する中で、漫然とした不安や不満のはげ口、解消を図りたいと思っている人々が少しでも前向きに、積極的に「傾聴にってみようかなあ」と思える環境・雰囲気（場所と時間）を提供する。 ・ 年末年始にかけたイベントとして、「クリスマス交流会」を企画し、市内各種ボランティア団体等との意見交換等を予定する。 この際、本事業支援の「活動への参画意識高揚品」（ポプリ小袋を予定）を活用する。
				報告	(1) カミーノでの傾聴活動 補助金で整備した「オリジナルエプロン」を着用し積極的に傾聴活動を実施した。傾聴に訪れた方からの反応は極めて好意的であった。 (2) クリスマス交流会 会員に事前案内した際、封筒に補助金で整備した「ポプリ」をスモールプレゼントとして同封し、好評を得た。 また当日参加者に、補助金で整備した「オリジナルエプロン」を配布し、今後の傾聴活動に対するインセンティブを振起した。 (3) 活動紹介ポスター及びリーフレットは、今後の活動で使用する予定 「オリジナルエプロン」、「活動紹介ポスター及びリーフレット」、「活動への参画意識高揚品（ポプリ）」ともに、本会の傾聴活動を活性化することに大いに貢献したものと判断する。
2	(一社) はぐネット	ユース世代の第3の居場所 「ユースラボ」	野々市市内の 小5～中3	理由	野々市市にユースセンターがなく、特に中学生の地域や事業や居場所が少ない。去年市内の中学で痛ましい事故があった。学校や家ではない安心安全な大人サポーターがいる地域の居場所があって、思春期の多感な時期に、自分は生きている価値があると思えるような自己効力感を身につけるべく、強く生きていくための育みのサポートの場があったらいいのではないかと思います、立ち上げた。 20年度に石川県内で認知されたいじめ件数は2, 286件、不登校については2, 381名で4年連続過去最多を更新している。不登校の理由は無気力や不安が多いそうで、ユースラボが本来子ども達も持っている好奇心を思い出すキッカケの場になっていきたい。
				内容	学校や家ではできない「大好き！」のフカボリ体験活動（探究学習）通したユース世代の第3の居場所づくり。自分の「好き！」が完全に肯定される安心安全の場所を提供する。英語と日本語が話せる外国人のサポーターも月1回協力体制がとれており、学校や家では体験できない新しい刺激も工夫。探究学習アドバイザーのプロ2名の協力体制、事業の監修の了承もとれている。居場所だけでなく学びの質も担保する。探究テーマを決め、個人探究活動を進め、3ヶ月に1回は成果発表を行う。お互いの個性を尊重し合うこと、学び合いにより、安心安全の環境と学びや成長の両輪を回す。
				効果	自分の「大好き！」などがみんなに認められていく中で、自己肯定感や自己効力感を育みます。親や学校の先生ではない、地域の安心安全な大人と、遊ぶ・学ぶことによって、信頼関係を築いていきます。本当に心に思っていることをユースラボで吐き出すことによって難しい時期を乗り越え、地域に貢献できる人材を育成。また地域の方に積極的に協力を呼びかけることで、現代のユース世代の課題を共有し、事故予防につなげます。不登校の子がちょっと外に出るキッカケになる場になるには時間がかかるとは思いますが、学校や教育委員会など関係者のみなさまに認知してもらい、地域活動の場として、紹介される選択肢の1つになることがまず目標です。
					探究学習アドバイザーをつとめる二志出先生はユースセンター事情に詳しい。「ユースラボは、仲良しで馴れ合いだけの場ではなく、お互いを尊重しながら、考えや気持ちを安心して言える、安心して1歩踏み出せる場になってきた。お客さんではなく、参加者ではなく、自分の居場所としてここにいることが当たり前になっている雰囲気が感じられる。」とフィードバックをいただきました。体験会にレギュラーメンバー全員が参加したこと、さらに友達を連れてきたことが居場所になったという証拠にもなっています。これからは、さらに現代のユース世代の課題を地域と共有しながら、野々市市にユースラボを定着させていきたいです。
3	学生団体 学生ノートック	地域共生社会づくり推進事業	市内のお子さん	理由	コロナウイルスの影響により、イベントの中止や参加者の減少から収入に比べ、出費が多く赤字となっているため
				内容	子どもとの自然体験を開催、子どもとの自然体験を開催するための現地施設調査とプログラム会議
				効果	学生団体ノートックは子どもを対象としたボランティア活動を目的としている。活動の効果として、環境の保全や子どもの健全育成が挙げられる。
				報告	地域の子供達に、自然と触れ合う環境の中で、普段味わうことのできない、ワクワクするような体験を通し、「自然との触れ合いを大切にすること」や「仲間と協力することの素晴らしさ」を実感してもらい、子どもたちに自主性を育んでもらうことができた。
4	ボランティア座希望の会	慰問公演を通して地域の 共生社会づくり	高齢の方々	理由	パワードミキサーが古くなり、高齢の方々に音が届きにくい状況にあった。公演を通してさらに交流を深めるため、購入を申請した。
				内容	地域の福祉施設や老人会での公演慰問（歌と踊り、歌謡劇）を行っている。
				効果	外出機会の減っている高齢者の方々に潤いと楽しみを与え、今後の生活の活力にする。また高齢者を含め、地域の方々とのよりよい交流を通して住みよい街づくりにつなげる。
				報告	新しいパワードミキサー購入により、公演活動がスムーズに行えるようになった。

令和3年度歳末たすけあい事業「地域支え合い・地域共生社会づくり推進事業補助事業」 事業報告

5	ののいち終活協議会	ののいち終活協議会	終活一般について野々市市民の皆さんの終活、一連の悩みや問題をかかえている方々	理由	野々市市民の終活関連のお悩みなどの傾聴をさせていただき、少しでも心おだやかになり、悩みを解消することを考え、明るく元気な老後を応援する活動のためです。
				内容	終活の理解と悩みの解決のためのセミナーや相談会、専門家の現場の情報をお知らせする。お墓、葬儀、遺言書、相続、生前整理、介護施設、年金保険、その他
				効果	健康、お金、情報の3つのテーマに終活リテラシーの啓蒙活動を実践する。明るく元気な老後を応援する。
				報告	終活の理解と悩みの解決のためのセミナーや相談会、専門家の現場の情報をお知らせする。施設見学同行、身元保証代行、エンディングノートのサポートセミナー、お墓、葬儀、遺言書相談、生前整理、介護施設年金保険等の情報案内、終活関連のお悩み傾聴で問題解決対策と一緒に考える。明るく元気な老後を応援する活動を実践した。 ・野々市広報誌掲載（3ヶ月毎）で毎月1回終活相談会開催 ・野々市市介護長寿課／地域包括支援センターと合流相談会開催 ・2ヶ月毎の終活セミナー（講師による）開催 ・終活個人相談者増加 笑いヨガ、脳活、ワークショップ参加者増加 ・介護長寿課発信誌「高齢者あんしんガイドブック」のサポート など
6	社会福祉法人あおぞら福祉会 フォーラムののシティ	地域交流事業	利用者・近隣 地域の方	理由	障害のある方と地域住民の方々が交流できる機会を作るため
				内容	映画鑑賞会
				効果	障害ある方への理解を地域に広げる。地域共生社会の構築。障害のある方の社会参加貢献。
				報告	コロナ感染状況が落ちつかないことから、開催時間の短縮を目的に「映画鑑賞会」から「健康体操」へ変更させて頂きました。（2時間→30分） 健康体操は、体操DVDをプロジェクターでスクリーンに映し、その映像を皆で観ながら一緒に体操を行いました。 ・高齢者・障害者・健常者問わず、一緒に体操をすることを目的に楽しみながら交流することができた。 ・プロジェクターを使用できたことで、離れた場所（ソーシャルディスタンス）にいる人も、よく見える環境で体操することができた。 ・健康体操後も、参加者の皆さんからカフェ利用の希望があり、コミュニケーションをとり合う場の提供に繋げることができた。